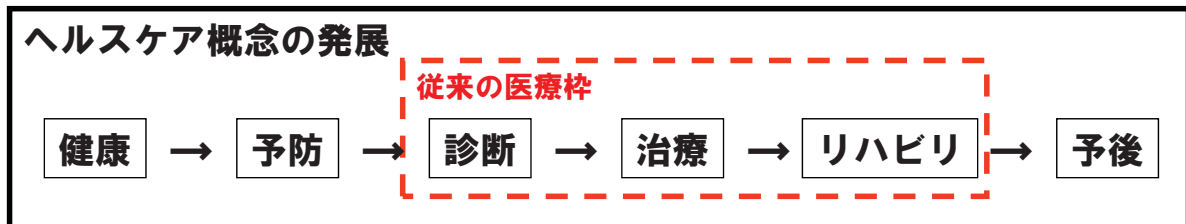


医療機器の社会への進出

一 病院から日常生活の場へ



今後の考え方



医療のコストと質のバランスの見直し

医療の範囲が、従来の医療機関内（9000機関）から
一般家庭サイド（4800万世帯）へ広がり、
より競争原理の働きやすい一般産業へ近づく

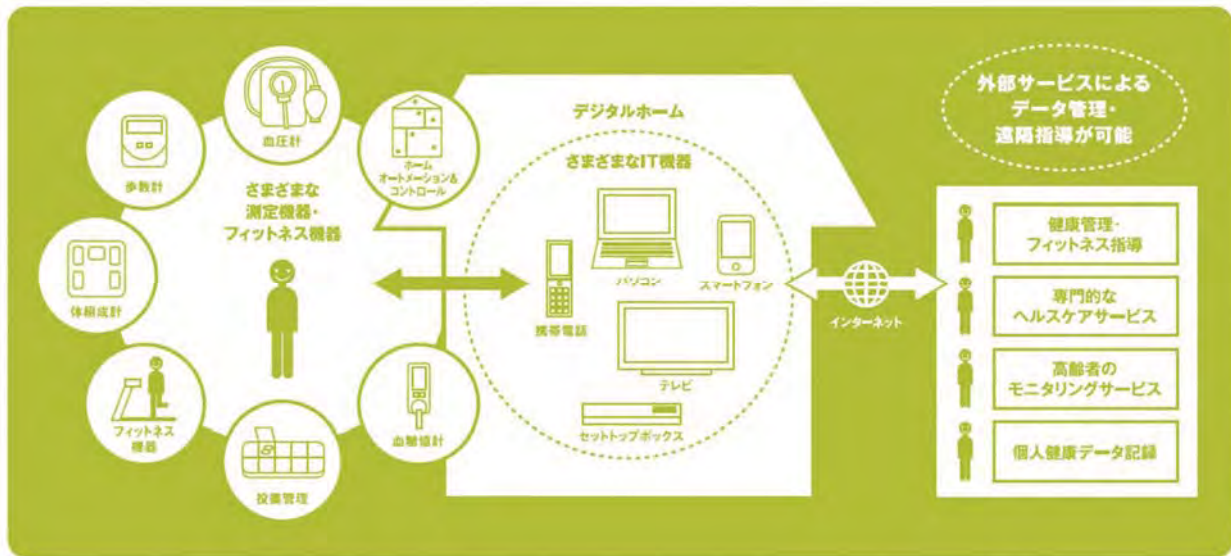
キーワード

予防	個別化	在宅	低コスト	非高機能 単純化	標準化
高齢化	予測	情報化	異業種	福祉	薬事外

コンティニュア・ヘルス・アライアンス

<http://www.continuaalliance.org/>

情報通信技術を活用した「つながる」ヘルスケアで、より豊かで健康的な生活を。



対象領域三分野

予防的な健康管理

- 健康データのモニタリング
- 個人的目標の達成
- 個人健康管理データの蓄積と管理
- パフォーマンス管理

慢性疾患管理

- 患者・医師・家族の効率的な連携
- 効果的な疾病管理
- 医療費の適正化
- QOLの向上

高齢者の自立支援

- 家族とのつながり
- 遠隔からのケア
- 統合的な管理
- 早期発見
- 医療費の適正化

情報化・在宅・高齢化

Health Guide

- Intel社：在宅患者向け医療管理システム 2008年7月FDA510k



慢性疾患を持つ在宅患者の健康を管理できるように、医療関係者向けに提供
販売はGE 両者は今後5年間で2億5000万ドル以上の投資
睡眠時無呼吸、心疾患、糖尿病、医薬品コンプライアンスなど、家庭における
健康管理や、高齢者の1人暮らし支援に関する共同研究と技術開発に取り組む
遠隔医療サービス市場は2009年の30億ドル規模から、2012年には77億ドル規模へと急成長する見通し

Care Link Network

- Medtronic社：ペースメーカー、患者、医療機関、専門医師間オンラインネットワーク
内容：ペースメーカーで測定されたデータを参加者全体でモニタリングするサービス
目的：**リスク管理** → 心臓のコンディションに抱く不安を大きく低減
「医療機関で受診した時の状態に基づくその場その場での診断」のみならず、
「オンラインで継続的に提供しているデータに基づく医療診断」



製品を売る → **包括的安心ケアサービス**を売るへ

医療産業研究会報告書

— 国民皆保険制度の 維持・改善に向けて —

2010年6月

29

委 員

(座長)

伊藤 元重 東京大学経済学部 教授 (総合研究開発機構理事長)

(医療学識経験者)

開原 成允 国際医療福祉大学教授 (東京大学名誉教授)
川淵 孝一 東京医科歯科大学 教授
菊地 眞 防衛医科大学校 副校長
南條輝志男 和歌山県立医科大学 学長
辰巳 治之 札幌医科大学大学院 教授

(医療機関)

土屋 了介 国立がんセンター中央病院 病院長
山本 修三 日本病院会会長
江藤 一洋 日本歯科医学会 会長
橋本 信夫 国立循環器センター 総長

(医療機器メーカー)

小松 研一 東芝メディカルシステムズ 代表取締役(医療機器メーカー)
和地 孝 テルモ 代表取締役会長(医療機器メーカー)
飯ヶ谷清明 日立製作所健康保険組合 理事長
生駒 俊明 キヤノン 取締役副社長

(医薬品メーカー、ほか)

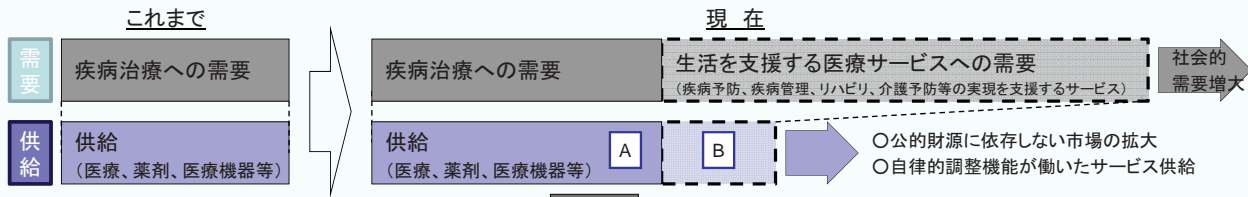
庄田 隆 日本製薬工業協会 会長
永山 治 バイオインダストリー協会 理事長
斎藤 敏一 スポーツ健康産業団体連合会 会長
佐々木 隆 JTB代表取締役会長
武久洋三 博愛記念病院 理事長

30

医療産業研究会報告書ポイント

現状

- 医療における需要と供給のギャップの顕在化
 - 医療で自律的に成長する部分の過小性
- 医療分野をコストセンターと認識



新たな考え方

- 自律的成長可能性の確保
 - 需要への自律的対応可能性の確保
- 医療の産業化+「医療生活産業」の創出

- A : 出来る限り自律的成長が可能な部分を確保
 B : 「A」に加えて新しい医療周辺市場を創出(「医療生活産業」)、保険外の供給を創出(保険外=財政上の制約無し、供給の自律性)

施策の方向性

- A : (一つの試みとして)医療の国際化等、自由な市場を通じた資本等資源の蓄積・市場拡大、症例確保等、技術革新基盤の増強
 B : 医療と関連サービス産業との連携(既存サービス産業のビジネスモデルの転換)、役割分担の明確化、ビジネスの標準約款、サービスの可視化(評価基準等)、民間保険を活用した環境整備(介護予防、リハビリ向けなど)等
 A + B : EHR/PHRの整備による「A」と「B」のシームレス化の対応(医療と関連産業間の円滑な情報流通への顧客からの需要)

●さらに取り組むべき施策

医療における自由な市場、関連する市場の創出を契機として、具体的実需や事例に基づく、「A」における一層の自律性導入を通じた市場の拡大

(例)選定療養範囲の見直し(電子化、遠隔医療)、病床規制の見直し、利潤追求型ではない資金調達が多様化、大規模化の検討

●長期的な課題

市場の確立のため、例えば、医療同意権、成年後見等の制度の見直し、整理の議論の必要性

Future Challenges to Biomedical Engineering

Herbert F. Voigt, Ph.D.

Professor, Biomedical Engineering

Boston University

President, International Federation for Medical and Biological Engineering (IFMBE)